



文化財としての の民具

別府大学文化財研究所では、これまで埋蔵文化財を中心に文化財の保存と活用に関するセミナーを行ってきた。本セミナーでは、市町村では埋蔵文化財と並んで数多く収集・保存・活用されてきた民具資料、人々の日常生活に関わる道具に着目したい。民具資料の置かれている現状は厳しい。保存場所であった各地の博物館や資料館も平成の大合併や建物の経年劣化にともない統廃合が進み、その中で民具資料の処分や廃棄も行なわれてきた。学校の空き教室を利用して置かれていたものも同様な状況となっている。

一方、嘗てのように生活道具が手作りされることも無くなり、今後いわゆる民具資料の収集は難しくなっている。そこで、改めて民具資料研究の意義を学ぶとともに、現在かかえる民具資料の保存・活用の問題点について検討する場としたい。本大学の卒業生で民具資料保存の現場に立っている者と本学での試みについて紹介しながら議論を深める。

開催日：2022年 12月3日（土）

場所：別府大学 メディアホール（別府市北石垣82）

対象：学生、一般

参加料：無料

日程

受付開始 12:30

開会あいさつ 13:00~13:10

別府大学 特任教授 飯沼 賢司

基調講演 13:10~14:10 「宮本常一と民具学のはじまり」

別府大学 特任教授 段上 達雄

報告1 14:25~14:45 「由布市歴史民俗資料館と民具」

由布市教育委員会社会教育課 主事 平野 陸

報告2 14:45~15:05 「美術館における民俗資料展示の可能性」

別府市美術館 学芸員 荒金 薫

報告3 15:05~15:25 「絹さん人形の保存について」

別府大学 教授 渡辺 智恵美

パネルディスカッション 15:30~16:00 「地域における民具の保存と活用」

コーディネーター 別府大学 准教授 福西 大輔

パネラー 各発表者

閉会あいさつ

文化財研究所 所長 別府大学 教授 田中 裕介

終了 16:30

お断り

来場の際には、新型コロナウイルス感染対策のために下記のことをさせていただきます。

1、37度5分以上ある方は入場をお断りさせていただきます。

2、手指の消毒をお願いします。

3、連絡先のご記入をお願いします。

4、マスク着用のうえ、他の来場者とのソーシャル・ディスタンスにご留意ください。

◎ 感染状況によっては、中止や一般の方の来場をお断りする場合があります。その場合、大学のホームページ等でお知らせします。

主催：別府大学文化財研究所

共催：由布市教育委員会

別府大学文学部史学・文化財学科

別府大学附属博物館

問い合わせ先：〒874-0915

別府市桜ヶ丘5-2

TEL 0977-27-6116

別府大学文化財研究所

